

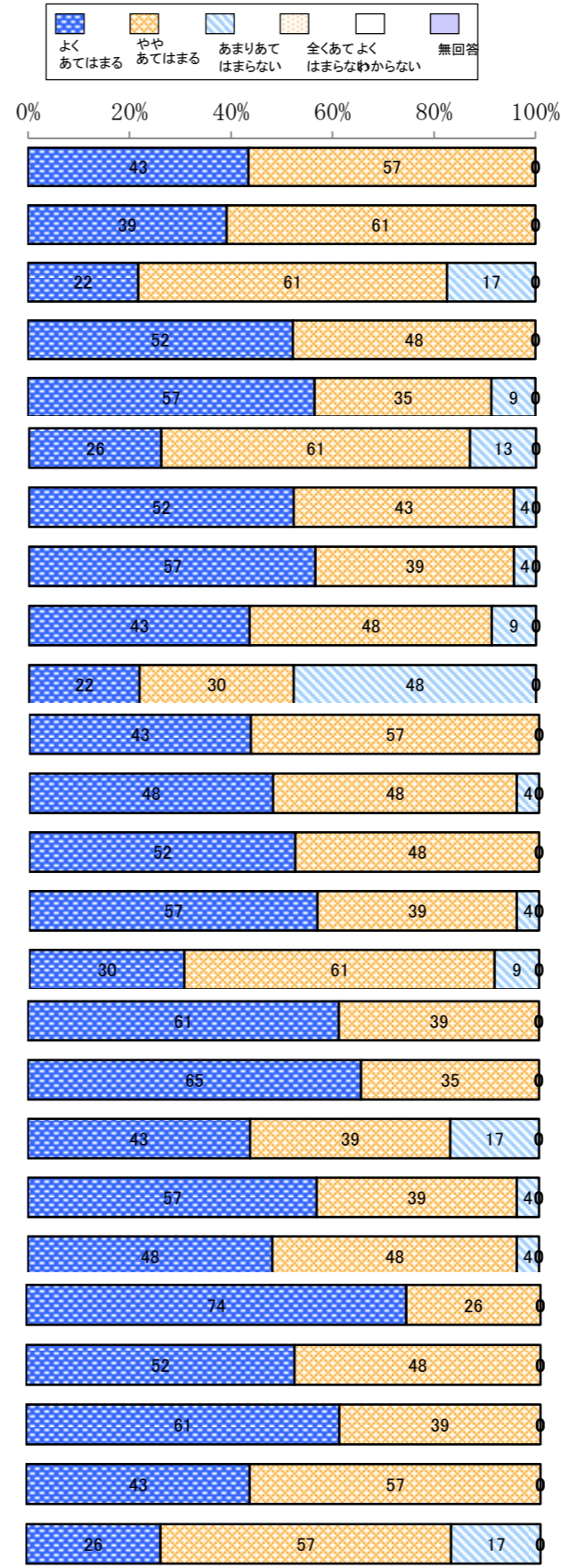
平成26年度 『学校評価アンケートの結果』 と 『自己評価』

荒川区立第七中学校

様式 4

アンケートの結果			上段：生徒 下段：保護者等 グラフ：教職員					
			A	B	C	D	よく分らない	無答
学校全体の様子	1	教育目標・方針	31	43	18	3	6	0
	2	児童・生徒の様子	62	30	5	1	0	0
	3	基本的な生活習慣	43	49	7	0	1	0
	4	児童・生徒理解	27	39	26	4	4	0
	5	健康・安全・安心	39	41	14	1	5	0
学力向上の取組	6	分かる授業	19	51	22	5	3	0
	7	個に応じた指導	30	48	16	3	4	0
	8	学習習慣	23	35	32	9	2	0
	9	情報教育	51	38	11	1	0	0
	10	学校図書館の活用	13	18	49	14	6	0
社会性・人間性の育成	11	人権教育	39	47	10	2	3	0
	12	道徳教育	32	45	16	3	4	0
	13	教育相談	21	28	28	16	7	0
	14	人間関係づくり	66	24	9	1	0	0
	15	自治的な活動	35	47	14	1	3	0
保護者・地域との連携	16	情報発信	40	30	9	1	19	0
	17	相談への対応	29	37	16	3	16	0
	18	学校への参加	33	38	17	6	6	0
	19	地域との連携	26	29	27	14	3	0
	20	意見の反映	26	37	16	3	18	0
各学校の特色ある教育	21	外部人材活用	45	40	10	1	5	0
	22	進路指導	36	39	14	2	8	0
	23	キャリア教育	38	45	12	1	5	0
	24	健康教育	23	43	15	3	15	0
	25	地域連携	18	37	23	3	19	0

無効票を除く(%)



無効票を除く(%)

学校の自己評価（考察）

「学校全体の様子」
 昨年とほぼ同じ結果。
 ＊良好な回答を得られた。特に生徒の様子、基本的な生活習慣で高い肯定的回答。今後も努力を続ける。

「学力向上の取組」
 6わかる授業→生徒7割、保護者6割が肯定的回答。H25と変わらず。
 ＊保護者の期待に応える努力がさらに求められる。
 7個に応じた指導→生徒77.3%（昨年比+6Point）やや向上。
 保護者69%（昨年比-4Point）
 ＊授業改善に一定の成果。しかし、保護者の期待はそれ以上で数値としての成果が求められていると考える。
 8学習習慣→生徒58%（+3.3%）、保護者69%（+10.0）。H25より上昇。
 ＊週末課題やあらかわ寺子屋（検定、補充教室等）の取組に成果。
 9情報教育→生徒88.1%（昨年比+14Point）、保護者78%（昨年比+16Point）。
 ＊タブレットPCを9月に導入した。ハード面、ソフト面の導入に成果。情報モラル教育が課題。
 10学校図書館の活用→生徒31%（昨年比+5Point）、保護者49%（昨年比-1Point）。
 教職員肯定的回答52%（昨年比-20.0Point）
 ＊生徒は、微増だが、授業での活用が大きな課題。貸し出しは、朝読書の充実を図る必要がある。

「社会性・人間性の育成」
 11人権教育、12道徳教育→生徒4%前後上昇。
 ＊11、12どちらも道徳の時間を要として進めることが重要。道徳の時間の計画的な実施により、内容の充実を図る。
 14人間関係づくり→生徒、保護者ともに90%以上が肯定的回答。
 15自治的な活動→生徒81.4%、保護者92.2%と高い肯定的回答。
 ＊運動会、合唱コンクール等の取組が評価されたと考える。

「保護者・地域との連携」
 16情報発信→生徒70%（昨年比+15Point）
 ＊タブレットPCの導入で、本校ホームページへのアクセスが増えたと考えられる。
 20意見の反映→保護者の肯定的回答60%
 ＊保護者の期待に応える努力がさらに必要

「各学校の特色ある教育」
 22進路指導→保護者60%
 ＊保護者の期待に応える努力がさらに必要
 23キャリア教育→生徒83%（昨年比+11Point）
 ＊社会人の話を聞く会の成果。